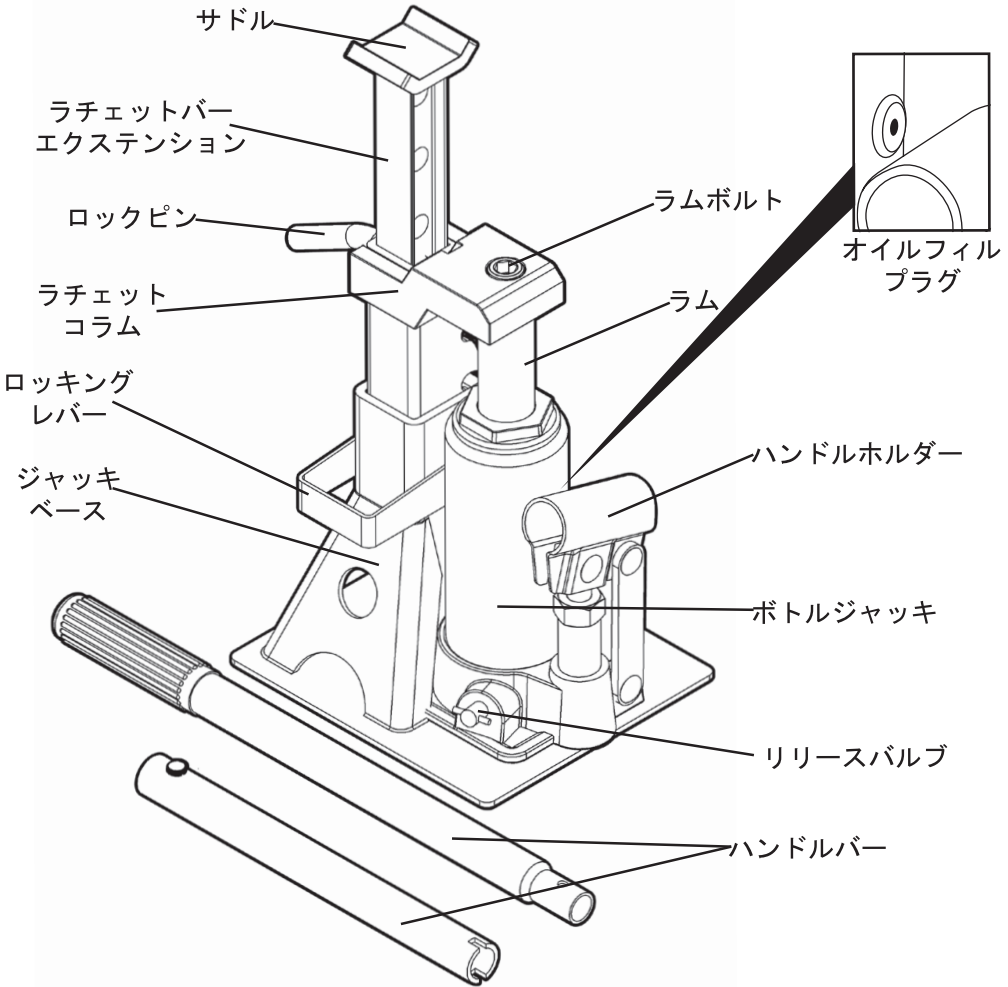


各部の名称



PWT

SJB2502PWT

UNIJACK™

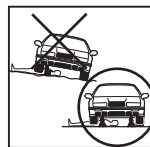
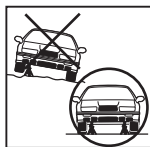
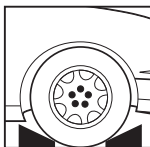
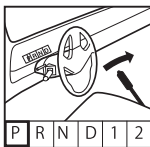


操作メンテナンスガイド



警告

- ご使用前に必ず本説明書をお読みください。
- 表示の最大荷重以上の負荷をかけないでください。
- 必ずコンクリートなどの固く水平な場所でご使用ください。
- メーカー指定のジャッキポイントでご使用ください。
- サドルの中心に荷重がかかるようご使用ください。
- ジャッキを改造しないでください。
- ジャッキを使用の際は車両の近くに子供や障害物がないことをご確認ください。
- 2基のジャッキスタンドを使って車両の両側をリフトアップする際は左右同じジャッキを使用してください。
- 車両の前後を同時にジャッキアップしたり車両の片側前後輪を同時にジャッキアップしないでください。
- 前後2個の輪留めをジャッキアップする対角のタイヤにセットしてご使用ください。
- ご使用前に無負荷の状態でごジャッキアップし本製品に異常がないか確認してください。



本製品を正しく使用するために

本機を操作する前に、製品ラベルや取扱説明書に記載されているすべての警告、操作方法、メンテナンス方法を確認し、熟知の上で使用ください。所有者/使用者は製品の説明書を保管してください。また、定期的に製品を検査し、それが正常に動作していることを確認することは、所有者および使用者の責任です。

注意事項

本製品はスチール製のため防錆用のオイルを可動部分や錆びやすい箇所にも多めに塗布しております。気になる場合はオイルを軽く拭き取ってからご使用ください。

操作方法

操作者がその内容を理解していることを確認し、適切な方法で使用してください。使用前には、取扱説明書に基づいて点検を行ってください。

【ジャッキアップ方法】

1. ジャッキと車両の両方が固い水平面にあることを確認してください。
2. パーキングブレーキ、サイドブレーキをかけて、前後2個の輪留めをジャッキアップする対角のタイヤにセットしてください。
3. 車両ごとに指定されているジャッキポイントの下に本製品を配置してください。
4. ロックピンを外し、サドルをジャッキポイントの高さに調整して再度ロックピンをセットしてください。
5. ロッキングレバーを下げてオートロックモードにしてください。
6. リリースバルブを時計回りに回して閉めてください。
7. ハンドルバーをつなげハンドルホルダーにセットしてください。
8. ポンピングして任意の高さまでジャッキアップしてください。

※製品の構造上、ラチェットバー側面の塗装が削れやすくなっています。
厚手の被膜で塗装しておりますが塗装が剥がれた場合は錆防止のためオイルを塗布してください。

【ジャッキの下げ方】

本製品は車重によりサドルを降下させます。練習・点検などの無負荷時は上から手で圧力かけて降下させてください。

1. 車の下から全ての障害物を取り除きます。
2. ロッキングレバーを上げてオートロックモードを解除します。

※オートロック作動時は安全のためロッキングレバーが最後まで上からず解除出来なくなります。
ロッキングレバーを上押ししながらリリースバルブが開まった状態でジャッキアップするとロッキングレバーが最後まで上がるようになります。
使用前にオートロックの仕組みを完全に理解してからご使用ください。

3. リリースバルブをゆっくり緩めながら車両をゆっくり下げてください。

※リリースバルブは1回転以上開けるとオイル漏れ、エアが混入します。
リリースバルブを緩めてジャッキが下がらない場合はオートロックが解除されているかご確認ください。

メンテナンス

毎月のメンテナンスをお勧めします。重い荷物を支えるジャッキは、潤滑が重要です。汚れや錆などがあると緩慢な動きをしたり、極端に急激な動きをしたり内部部品を損傷させてしまいます。

以下の手順で潤滑油を十分に補給してください。

1. ラム、ラチェットコラム、ポンプ機構にオイルを塗布します。
2. 溶接部にひび割れがないか、曲がっていないか、緩んでいないか、部品が欠けていないか、ジャッキオイルが漏れていないかを目視で点検してください。
3. 異常な荷重や衝撃が加わった場合は、使用を中止してください。
4. すべての表面を清掃し、すべてのラベルと警告が剥がれないように保管してください。
5. ジャッキオイルの残量を確認し、維持してください。
6. 必ずサドルを完全に下げた状態で保管してください。重要な部分を錆などの腐食から保護することができます。

オイルチェック

警告！ ブレーキフルードやATF、通常のモーターオイルは、オイルシールを損傷する可能性があるため、使用しないでください。必ずジャッキオイルを使用してください。

1. リリースバルブを反時計回りに回して、ラムが完全に引っ込むようにします。
2. ジャッキをオイルフィルプラグが天井を向いた状態で、水平に倒しオイルフィルプラグを取り外します。オイルが水平になっている状態でオイルが充填穴まで満たされている必要があります。オイルが汚れている場合は新しいオイルに交換してください。足りない場合は補充してください。充填しすぎないでください。必ず新しいきれいな油圧ジャッキオイルを充填してください。
3. 充填プラグを取り付けます。
4. ジャッキの動作を確認します。
5. 必要に応じてエア抜きします。

エア抜き

1. リリースバルブを反時計回りに 1 回転回して開きます。
2. ポンプハンドルを 8 回フルストロークでポンピングします。
3. リリースバルブを時計回りに回してバルブを閉じます。
4. サドルが最大高さに達するまでハンドルをポンピングし、ラム内に閉じ込められた空気を除去するために数回ポンピングを続けます。エアが大量に混入している場合はポンピング後速やかにオイルフィルプラグを開け給油口に上に向けエアを排出します。
5. リリースバルブを反時計回りに 1 回転回し、サドルを最低位置まで下げます。
6. リリースバルブを時計回りに回して閉じた位置まで回し、ポンプが適切に作動していることを確認します。完全にエアが抜けるまで上記の作業を複数回行う必要がある場合があります。

トラブルシューティング

状況	原因	対策
最高位まで上がらない	①オイルレベルが低い ②エアが混入している	①ジャッキオイルを充填してください。 ②エア抜きをしてください。
ジャッキが荷重を保持できない	①リリースバルブがしっかり閉まっていない。 ②エアが混入している。	①リリースバルブを閉めてください。 ②エア抜きをしてください。
最低位まで下がらない	①エアが混入している。 ②オートロックが作動している ③負荷がかかっていない。	①エア抜きをしてください。 ②オートロックが作動するとレバーが最後まで上がらなくなります。レバーが上がる位置まで車両をジャッキアップしてください。 ③無負荷時は上から手で押してください。
スムーズに上がらない	①エアが混入している。	①エア抜きをしてください。